

不定詞の3用法は「名詞的・形容詞的・副詞的」という分類の暗記から入ると、使えない知識になりがちです。このタスク型授業案では、「自分たちの理想の学校の時間割をつくって発表する」というゴールに向かう過程で、3用法すべてを必要だから使う状況を設計しています。

この教材で解決できる悩み

- ・ 不定詞の用法分類は言えるのに、英文が書けない・話せない生徒が多い
- ・ タスク型授業をやってみたいが、時間配分と評価の設計が難しい
- ・ グループ活動が「日本語での相談会」になってしまう

教材の概要

項目	内容
対象	中学2年(NEW HORIZON 2 Unit 3 学習後)
文法項目	不定詞(名詞的・形容詞的・副詞的用法)
形式	授業案A4・4ページ+企画シート・発表評価ルーブリック
所要時間	50分×2コマ
準備物	企画シート(グループに1枚)、付箋

タスクの設計

ゴール:「転校生に自慢できる、夢の時間割」を英語でプレゼンする。

- ・ I want to take Cooking class.(名詞的用法 → やりたい授業を挙げる)
- ・ We have time to sleep after lunch.(形容詞的用法 → 時間割の目玉を説明)
- ・ We go to the gym to play dodgeball.(副詞的用法 → 各授業の目的を説明)

用法名は教えず、発表に必要な「型」として3つの文フレームを配ります。分類の整理はタスク後(2コマ目後半)に行います。

授業の流れ

1コマ目: 企画(インプット→グループワーク)

1. 教師のモデルプレゼン(5分): 教師自身の「夢の時間割」を見せて笑いを取りつつ、使ってほしい表現を3回以上聞かせます。
2. グループで時間割づくり(25分): 企画シートに沿って、月～金の1日分だけ設計します。
3. 発表原稿づくり(15分): 3つの文フレームを最低1回ずつ使うルールで原稿化。

2コマ目: 発表と言語フォーカス

1. リハーサル(10分)→ 発表(20分・1グループ90秒)
2. 教師による誤りの取り上げ(10分): 発表中にメモした誤用を匿名で板書し、全体で修正。

3. 3用法の整理(10分): 発表で使った文を3グループに仕分けし、ここで初めて用法名を与えます。

「日本語相談会」を防ぐ最も効くルールは、企画シート自体を英語フォーマットにすることです。書く欄がすべて英語なら、相談が日本語でも成果物は英語になります。全発話を英語に縛るより現実的です。

評価(ルーブリック抜粋)

観点	A	B
知識・技能	3フレームすべて正しく使用	2フレーム正しく使用
思考・判断・表現	目的や理由が聞き手に伝わる	内容は伝わるが理由が薄い

発表が苦手な生徒には、原稿の音読発表を認める配慮例も授業案に記載しています。